

令和7年度 玉出中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和7年度 玉出中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)		平均IRTスコア	
			国語	数学	国語	数学	理科	
3年	学校	82	49	40	8.4	14.3	482	
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	489	
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	503	

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3年	学校	73	60.4	49.1	49.8	40.2	58.6	8.6	7.1	14.5	14.0	7.3
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.2	9.4	6.5
9月2日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4
2年	学校	78	53.2	38.2	47.0	40.6	41.5	11.9	8.1	14.3	6.2	11.0
	大阪市	—	65.2	42.6	56.0	47.9	52.4	6.6	6.1	10.3	4.2	6.9
1月14日	大阪府	—	64.5	43.5	55.0	46.7	51.8	7.3	6.4	11.7	5.0	7.6
1年	学校	96	57.4	51.4	49.4	43.7	61.1	10.4	—	8.9	—	5.5
	大阪市	—	63.3	58.3	57.6	63.0	66.5	9.1	—	7.6	—	4.1
1月14日	大阪府	—	63.1	—	56.7	—	65.2	10.2	—	8.8	—	4.9

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は物理的領域を選択

※ 2年生の社会はB問題を選択

※ 3年生の理科はB問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
			【リーディング】	【リスニング】	【ライティング】	【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3年	学校	71	109.5	107.6	159.1	107.0
	大阪市	—	117.4	110.2	146.4	98.4

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトル ラン	持久走 男子1500m 女子1000m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
		(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2年 男子	学校	71	32.38	26.66	45.67	51.90	68.30	8.06	180.95	18.25	41.65
	大阪市	—	28.65	26.89	43.47	51.80	80.14	8.06	195.02	20.28	41.69
	全国	—	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
2年 女子	学校	—	21.24	23.75	52.48	45.38	49.78	9.13	159.22	11.29	46.86
	大阪市	—	23.12	22.70	46.32	46.59	53.12	9.03	166.76	12.20	48.14
	全国	—	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

令和7年度 玉出中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

〈国語〉 全国と比較して、「読むこと」の領域については、0.3pt上回る結果であった。それに対して、「書くこと」の領域では、-9.6ptとなり、「書くこと」の領域で課題を残すこととなった。全体としては、-5.3ptと全国平均に近づいてきているが、若干下回る結果となった。

〈数学〉 全国と比較して、「関数」の領域では、-5.3ptと若干下回る状況であった。それに対して、「図形」の領域で-9.6pt、「数と式」では-9.1ptと大きく下回る結果となり、課題が見える結果となった。全体としては、-8.3ptで今後の頑張りが期待される結果であった。

〈理科〉 全国のIRTスコアが503ptであるのに対して、大阪市が489pt、本校が482ptで、全国と比較して21ptの差であった。全国比は95.8、対大阪市比は98.6であり、今後の奮起が期待される。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

〈成果〉 英語科においては、大阪府平均を5.4pt上回る結果であった。その他の教科では、大阪府平均には惜しくも及ばなかったものの、日ごろの努力の成果が表れる結果となった。

〈課題〉 各教科ともに、学習における基礎基本の徹底を図るとともに、子どもたちの生活の質を向上させることを目的の一つとして、授業等の学習活動を続けていきたい。ICT機器については、多くの授業で学習道具の一つとして根付いており、調べ学習やまとめ作業等に活用できている。

○大阪市英語力調査(GTEC)

〈成果〉 「書くこと」は大阪市と比較して12.7pt、「話すこと」は大阪市と比較して8.6pt、上回る結果であった。英語を用いた表現力が身に付いてきている。

〈課題〉 「読むこと」は大阪市と比較して7.9pt、「聞くこと」は大阪市と比較して2.6pt、下回る結果であった。WPMと読解力、概要や要点を聞き取る力の向上への取組が必要である。

○中学生チャレンジテスト(1年生・2年生)・中学生チャレンジテストplus

〈成果〉

1年生の国語、数学、英語においては、大阪府平均を4～8pt下回る結果であった。plusにおいては大阪市平均と比較し、社会では-6.9pt、理科では-19.3ptという結果であった。

2年生では全教科において、大阪府平均を5～12pt下回る結果となった。

〈課題〉

各教科ともに、学習における基礎基本の徹底を図るとともに、子どもたちの生活の質を向上させることを目的の一つとして、授業等の学習活動を続けていきたい。ICTを活用し、協働的な学びや個別最適な学びの具現化に引き続き取り組む。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査

〈成果〉 男子は、握力で全国平均を大きく上回り、上体起こしや長座体前屈、反復横跳びにおいても全国平均を上回る結果であった。女子は、上体起こしや長座体前屈において、全国平均や学校平均を上回った。体の柔軟性に優れているといえる。体力合計点は、男子、女子ともにほぼ全国平均並みの得点であった。

〈課題〉、「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に対しては、男女とも「好き」と答えた生徒は全国平均よりもやや少ない結果であった。

1週間の総運時間が60分未満の生徒の割合は、男子では14.3%(全国平均9.4%)、女子では51.9%(全国平均21.4%)であり、運動不足が心配される。

【今後に向けて】

○各教科とも、授業には落ち着いて参加しているが、さらに分かるようになりたいという意欲をより前向きに出せるよう働きかけを続けていきたい。

○生徒が学習に興味をもつように、学習内容と日常生活との関連を具体的に示すように工夫していきたい。

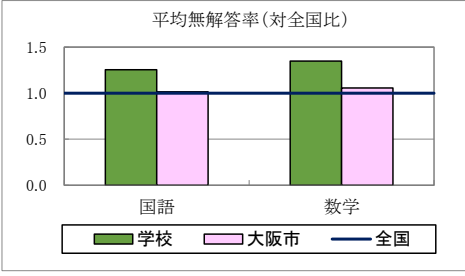
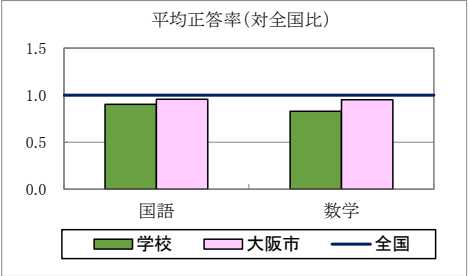
令和7年度 玉出中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	49	40
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	8.4	14.3
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6

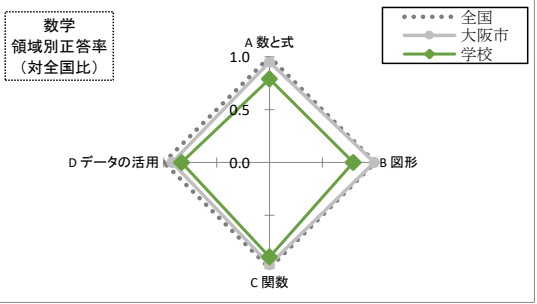
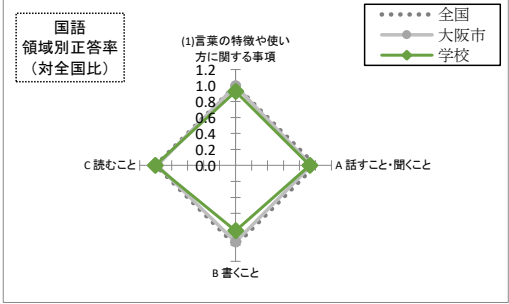
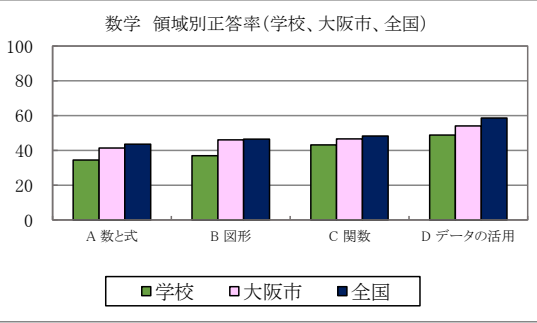
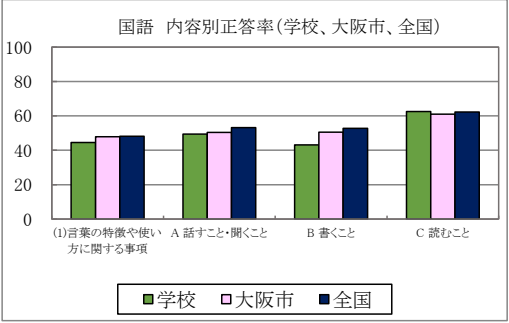


【 国 語 】

【 数 学 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	2	44.5	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に 関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	49.4	50.4	53.2
B 書くこと	5	43.2	50.6	52.8
C 読むこと	3	62.6	61.0	62.3

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	34.4	41.4	43.5
B 図形	4	36.9	46.1	46.5
C 関数	3	43.1	46.6	48.2
D データの活用	3	48.8	54.0	58.6

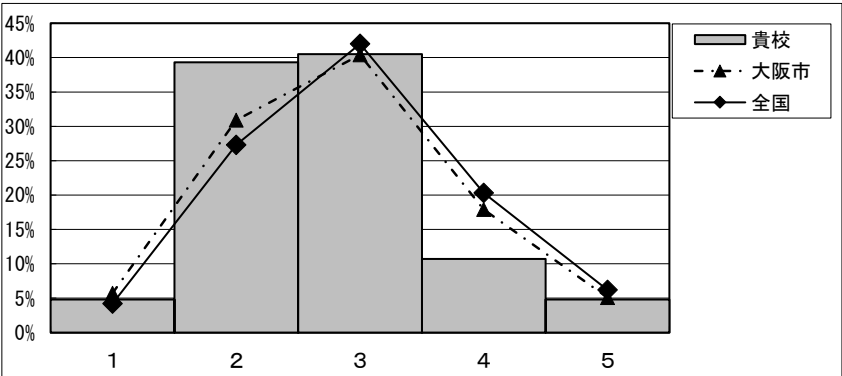
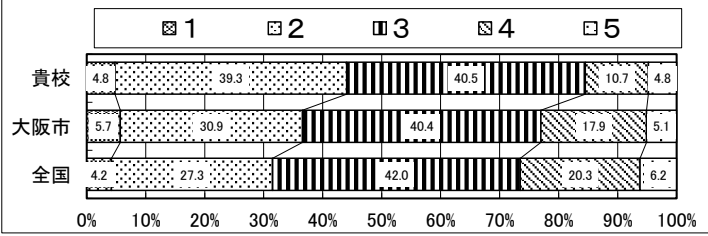


令和7年度 玉出中学校のあゆみ
 —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	482
大阪市	489
全国	503



令和7年度 玉出中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

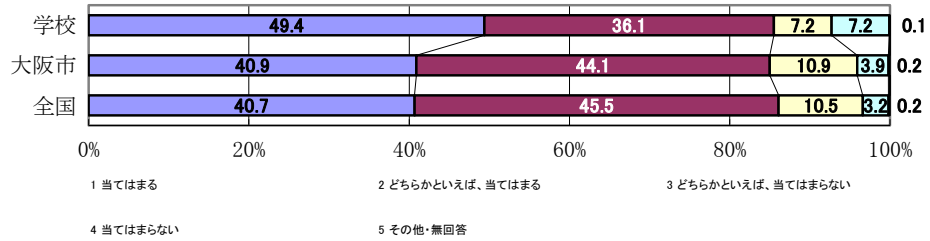
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

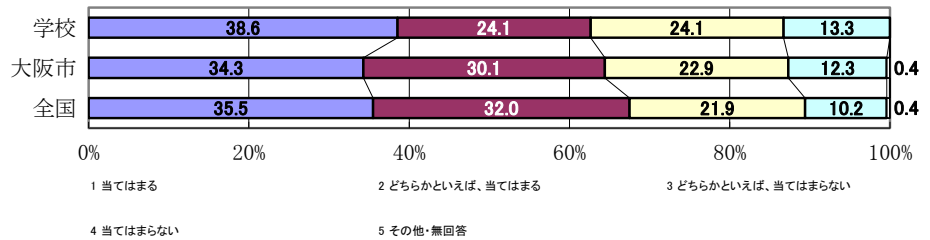
5

自分には、よいところがあると思いますか



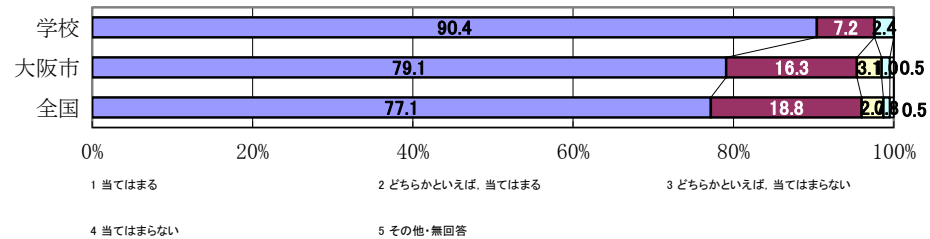
7

将来の夢や目標を持っていますか



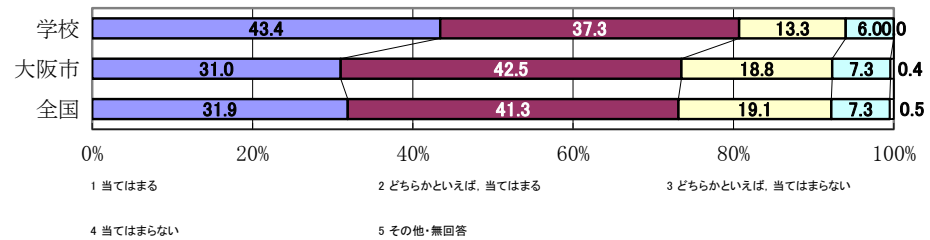
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



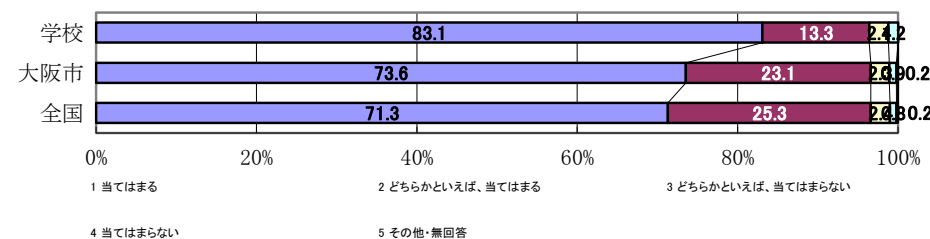
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



令和7年度 玉出中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

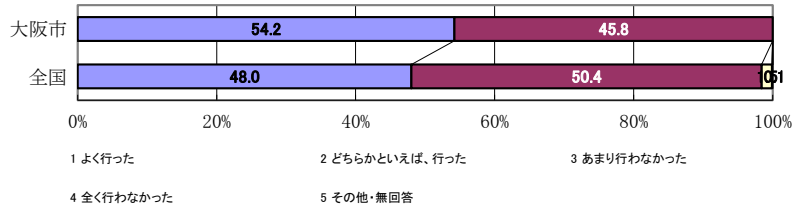
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

質問番号
質問事項

9

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

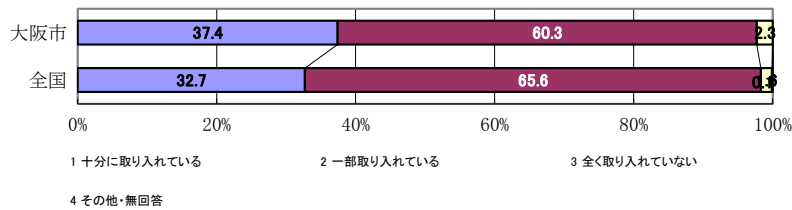
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

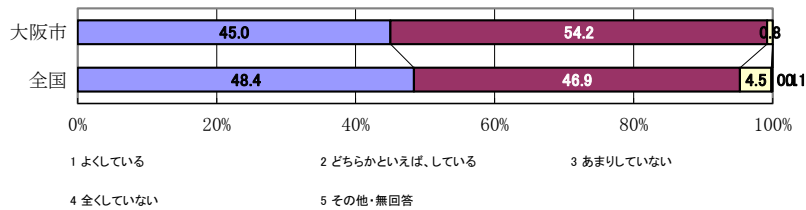
学校 「十分に取り入れている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

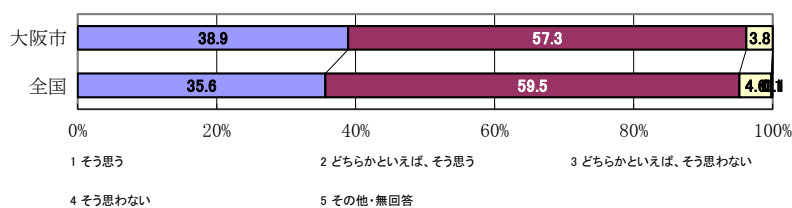
学校 「どちらかといえば、している」を選択



28

調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



学校 「」を選択

